

元海兵隊員が語る

アメリカのイラク戦争

日本を「戦争をしない国」から「アメリカと一緒に戦争する国」へと向かわせる危険な流れに、多くの人が危機感を抱いています。そのアメリカはイラク戦争で何をしてきたのか？イラク・ファルージャ総攻撃に参加し、その体験から反戦運動に身を転じたロス・カプーティさんが来日し、日本の皆さんに語りかけます。

日時 11月25日（火）18：30～20：30

会場 エル大阪 709号室

参加協力費 1000円

☆通訳・解説は高遠菜穂子さん

【ロス・カプーティさんプロフィール】

2004年11月のファルージャ総攻撃に海兵隊員として参加。そこでの経験は彼を反戦行動へと向かわせた。

後に設立した「ファルージャの正義プロジェクト」は、アメリカの戦争犯罪の犠牲者との連帯をすすめ、アメリカによるすべての戦争と占領を終結させることを目的としている。また、イラク戦争犠牲者への「償いプロジェクト」の共同設立者となり、難民・国内避難民支援や医療支援だけでなく、和解、平和構築などにも取り組んでいる。



会場へのアクセス



- 京阪電鉄・天満橋駅下車
- 地下鉄谷町線・天満橋下車

【共催】イラク戦争の検証を求めるネットワーク/WSFおおさか連絡会 / 市民社会フォーラム / イラクの子どもを救う会

【連絡先】 civilesocietyforum@gmail.com（市民社会フォーラム）

06-6966-9003（WSFおおさか連絡会）